

- いわき市は広域多核型の都市構造を形成しており、人口密度が低く、輸送の効率性・採算性から公共交通の利用環境が充実していないことから、通勤・通学手段における自家用車利用率が極めて高い。(自家用車依存度は中核市でトップ)
- 市内の公共交通の骨格である拠点間を運行する基幹バス路線を対象に、運行ルート<sup>①</sup>の統一・分割、パターンダイヤの設定を行うことで、効率的で利便性の高い公共交通網の構築を図る。

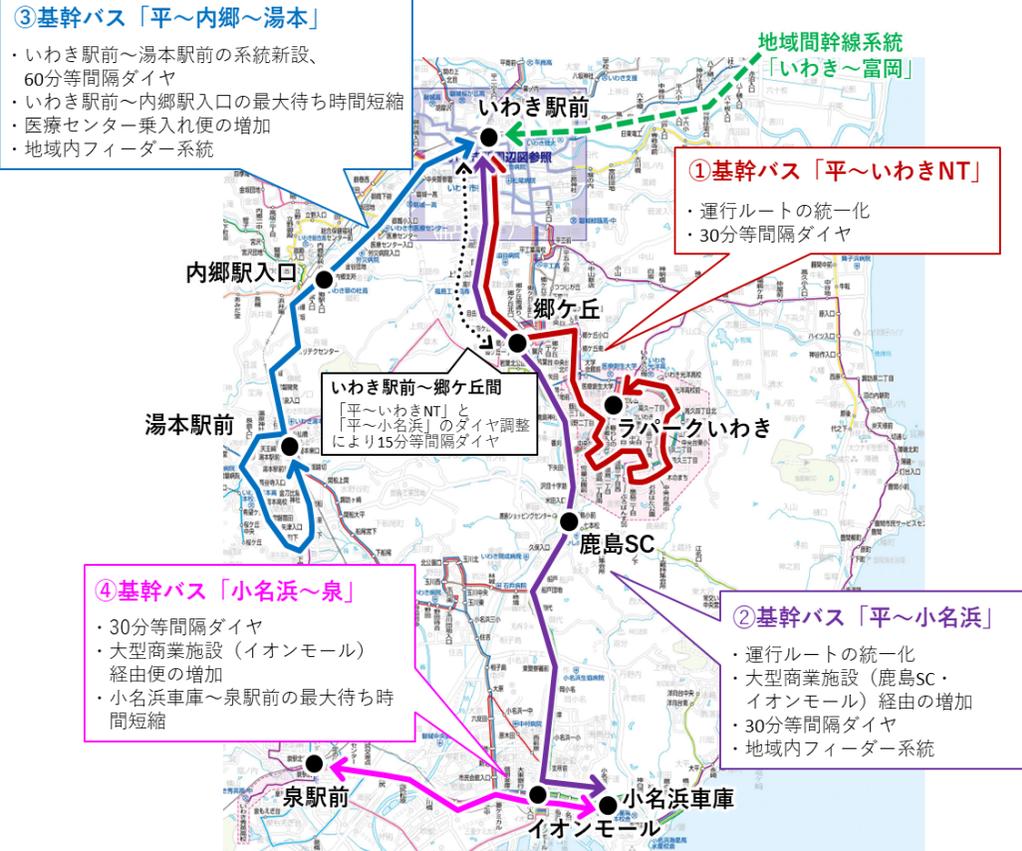
## 主な事業の内容

- ①「平～いわきNT」における最大待ち時間の短縮  
いわき駅前～ショッピングセンター(ラパークいわき)間の最大待ち時間を60分⇒30分に短縮を図るとともに、30分等間隔にパターン化された利用しやすいダイヤとする。
- ②「平～小名浜」における経路先の変更  
いわき駅前～小名浜車庫間等において、大型商業施設(鹿島SC・イオンモールいわき小名浜)両方を經由する系統を新設し、お出かけの利便性を高める。
- ③「平～内郷～湯本」への系統の分割  
いわき駅前～八仙～小名浜車庫の長大路線をいわき駅前～湯本駅前間と、湯本東口～小名浜車庫間とに系統を分離し、ダイヤ編成の効率化を図る。
- ④「小名浜～泉」における最大待ち時間の短縮  
新設する泉駅前～イオンモール～小名浜車庫間の最大待ち時間を90分⇒30分に短縮を図るとともに、30分間隔にパターン化された利用しやすいダイヤとする。

## 事業の効果

- ・基幹バス路線の利用者利便性の向上  
最大待ち時間の短縮を図るとともにパターンダイヤ化の取組や、大型商業施設、総合病院等の経路先の変更により、利用者の利便性向上を図る。
- ・基幹バス路線の運行における効率性向上  
長大路線の系統を分離することでダイヤ編成の効率化を図る。

## 利便増進事業の概要図



- ・作成自治体 福島県いわき市
- ・事業実施区域 いわき市全域
- ・事業実施予定期間 R7年4月～R10年3月